

経営課題	意見
【経営課題1-1】	課題認識のオンラインの活用に向けた支援について具体的なツールを示してはどうか（アプリ等）
【経営課題1-1】	Facebook、インスタグラムなどのSNSをどのように活用し、活性化させていけるか（若者の参画を視野に入れる）
【経営課題1-1】	地活協の認知度向上は必要。ホームページはわざわざ見ない。紙のほうが見やすいので、アプリなどでこちら側から通知してはどうか
【経営課題1-1】	単位振興町会・各種団体等（地活協として）からのニーズに応じたニュースソースの発信等（時世に合った見解で）
【経営課題1-1】	区民まつりについて小・中学生等の若い人のアイデアを募り参画意識を醸成することも考えては
【経営課題1-1】	「自律的な地域運営」は「自立的」では
【経営課題1-1】	コミュニティビジネスは東淀川区で行うと市民から批判が来るのでは
【経営課題1-1】	地域活動協議会で沢山の予算を頂いているが、東淀川区では、6活動分野においてすべて一事業以上を実施しないと予算がおりないが、他区では、その縛りがないところが多いので自由度が高い
【経営課題1-1】	ボランティアでの運営に無理が生じていると思われます。給与制にし、運営側が生活できるようにすれば担い手は増えるかと。各々の生活第一なので、自身の生活を削ってボランティアというのに無理があります
【経営課題1-1】	地域活動協議会と地域振興町会との組織の整合性について明確化が必要では
【経営課題1-1】	各地域活動協議会での活用内容が比較できる情報が欲しい
【経営課題1-1】	自主財源の確保、拡充・・・とあるが、具体的な例を示してほしい
【経営課題1-1】	地活協活動は効率的、効果的なものが見た目や数値化しにくい点を考慮する必要がある
【経営課題1-1】	地活協を検索して初めてホームページにたどり着いたが、居住地域のリンクをたどっていくとPDFファイル更新など分かりづらい感がある。1-2にもつながるが新規メンバーを受け入れているのかも不明
【経営課題1-1】	地域づくりアドバイザーとは(どのような人か、どんなことをするのか)を知りたい
【経営課題1-2】	BCP策定について、地域連携とあるが、具体的に地域とどのように連携するのか地域を交えての連絡会を設定することも考えるべき
【経営課題1-2】	「BCP策定推進」の言葉の意味は？
【経営課題1-2】	ICTの活用促進については、スマホ講座で、X（旧Twitter）LINE,Facebookの登録や、大阪市防災アプリ、安まちアプリをインストールして活用してもらう
【経営課題1-2】	産学交流の仕掛けづくりを推進する
【経営課題1-2】	幼稚園～中学校それぞれの段階で東淀川区内の企業とかかわりが持てる機会を創出する
【経営課題1-2】	区主催の行事以外でも区の活性化を促進してはどうか
【経営課題1-2】	団体への協力体制の確保
【経営課題1-2】	大学と連携し、区民に学びの機会のある場として無償にて日曜大学講座を開講し、地域の活性化につなげてはどうか
【経営課題1-2】	区民まつりですが、数年前にパレードが無くなり、区役所と消防署での開催になっておりますが、柴島浄水場等の施設などの活用ができないのか？小学生児童の野外活動もできるのでは？（区民まつりの実行委員会の意向もあるのかもしれませんが）
【経営課題1-2】	区民まつりは以前のように区役所前では行えないのか
【経営課題1-2】	担い手の発掘が必要と感じているが具体的にどうすれば…と悩む。活気が必要なのではないか
【経営課題1-2】	クレームやハラスメントが表面化してきている中、活気づけるには寛容さが必要であると言う旨区役所が主となり訴えて行く必要があると思う
【経営課題1-2】	課題認識は既に共有できている。担い手不足をいうのなら、もっと地活協への事務的作業を簡素化したり、事業量を少なくしたりする工夫を更にする必要があるのでは
【経営課題1-2】	万博について市民に賛成か反対かを聞いた方がよい
【経営課題1-2】	単位振興町会への加入促進。それに関わるメリット発信（防災関連など）
【経営課題1-3】	西部だけではなく東部にも力を入れてほしい

【経営課題 1-3】	リニアも視野に入れるとますます新大阪駅の利便性は高まるので、西部地域の発展は大いに進めるべき課題であると思う
【経営課題 1-3】	JR淡路駅の乗降客も増加していると思うので、そちらも併せて注力してほしい
【経営課題 1-3】	未利用地を活用して規模の大きな高齢者施設を作り高齢者施設施設の集約を図り、より効率の良い介護サービスを行うようにしてはどうか
【経営課題 1-3】	西部地域に対し開発状況等の情報発信や防犯的向上の促進（開発後に向けた観光者や地域住民に対し安全対策含む）
【経営課題 1-3】	ワークショップ等の開催や、アクションプランの作成を支援するとあるが、どのように取り組んでいけばいいのか、その具体的な方法などを示す必要があるのでは。課題が大きいのイメージにくい
【経営課題 1-3】	西部地域と他地域を結ぶ交通手段の充実
【経営課題 1-3】	今の東淀川区は昔に比べ住みやすくなっているのか
【経営課題 1-3】	西淡路小学校跡地の活用は住民の意見を丁寧に聞き取り進める必要があると感じる
【経営課題 1-3】	もと西淡路小学校の活用について、旧西淡路小学校が廃校になって約8年を経過。取組みの加速とともにマイルストーンを設定し進捗管理をすすめるべき アウトカム指標にも明記すべき
【経営課題 1-3】	災害避難所に指定されているが、設備の老朽化とともに休止している施設のため避難所として設備が不足。活用策検討とは別に避難所としての機能の整備を早急におこなうべき
【経営課題 1-3】	売却ありきの考え方で、自前で活用することも選択肢としてもつべき
【経営課題 1-3】	もと西淡路小学校にかかる活用方策策定ですが、現在、使用している団体・個人に対しての状況説明や、今後の課題、行き場の確保はどうするのか？
【経営課題 1-3】	もと西淡路小学校の現状は分からないが災害時避難場所としては最適だと思う。また子どもたちが自由に遊べる、高齢者が集える場所になるといいと思う
【経営課題 1-3】	西淡路小学校跡地の活用とあるが、それ以外の地域でも場所の確保や活用予定はあるのか
【経営課題 1-3】	廃校＝マンション建設にならない活用

経営課題2 令和6年度東淀川区区政会議第1回各部会でいただいた意見

経営課題	意見
【経営課題2-1】	取り組みにより100%評価とあり引き続きの取り組みの継続が必要である。多様な特性の妊産婦やコロナ禍での周囲との隔たりにより孤立した子育てをしている子育て家庭への支援の重要性が増していることから、より支援対象者の増加が見込まれるように感じる。ICTの活用による事前の泣くことへの対処と認識の強化を体験できる機会がもう少し増えることが必要と感じた。ぜひもう一歩購入、休日の体験会の実施を進めていただければと思う
【経営課題2-1】	赤ちゃん型人形も活用できていて追加購入しても良いと思う
【経営課題2-1】	赤ちゃん型人形を学校教育に活用できないのか
【経営課題2-1】	ICTを活用した子育て支援事業の拡充 本年度の参加状況は？
【経営課題2-1】	ICTを活用した子育て支援事業の拡充について。子育てにおいて「こどもが泣くこと」が親のストレスの原因であるのは、親自身の理解が及ばないこと以上に「こどもが泣くこと」についての周囲の理解が乏しいからでもある。その無理解な周囲とは、社会的環境の中に共生するしかない隣人であったり、公共の場を共有する市民である。この少子化社会ではその傾向はますます高まると容易に推察できる。その無理解な周囲は、「こどもが泣くこと」は、「親がこどもを泣かせている」と捉えがちであり、「こどもが泣くこと」は即ち親のする迷惑行為として受け取られる。周囲のその無理解が子育てする親にプレッシャーを与えるから「こどもが泣くこと」それ自体が親のストレスの要因となる。ゆえに、このICT活用事業によって「こどもが泣くこと」に関する親の理解を深めたとしても、そのストレスの軽減に役立つ効果は僅かであると言わざるを得ない。その僅かな効果を期待するのならば、プログラミングされた赤ちゃん型人形でなくとも動画視聴で事足りるだろうし、実際として動画の方が様々な年代のこども達の発達過程での「泣き」「ぐずり」を観察リサーチすることが可能であるし、それが配信動画であればその情報の共有も容易く、子育てする親だけでなくより多くの市民の理解に繋がるし、その周囲の理解があつてこそ、親の子育てストレス負荷の軽減効果が高まる。このICT活用事業で親の理解を深めれば子育てストレスが効果的に軽減されるのならば、何故そうなのかの具体的説明を求める。この事業の必要性とその効果とその費用をかける意義についてを、詳細に説明されたし
【経営課題2-1】	アウトカム指標で100%になっていてとても良いと思います。今後も相談しやすいベースとなってほしい
【経営課題2-1】	子育てサロンは、長女の時大変お世話になりました。これからのお母さん方も活用してもらえれば良いと思います
【経営課題2-1】	月1回の子育てサロンのお手伝いをしておりますが、参加者がまだまだ少ないように感じます。多くの子育て世帯が参加しやすいイベントや、情報発信ができればよいのですが、事務局が忙しく人手不足もあり、よい方法がないかと思案しております。こさりんスタッフの出前講座は大変助かります
【経営課題2-1】	隣家は4人の子育て中のママ、6歳、4歳、2歳、1歳朝から泣き声の大合唱。時にはパパの怒る声も聞こえる。「泣き声は大きなストレス」昨年10月頃より幼稚園に行く前、身支度のできた3名が我が家に来てテーブルを囲み紙工作をするようになりました。朝の泣き声がびたりと止まりママも笑顔です
【経営課題2-1】	誰にも妊娠を打ち明けられない方（母子手帳未取得者）の相談窓口、医療機関への紹介
【経営課題2-1】	市では3カ月までしか伴走支援していないのに区では1歳まで行っているのはとても良いと思う
【経営課題2-1】	助産師による専門的相談事業の伴走支援は区独自に1歳まで延長され（対象者に毎月訪問）とあるが、対象者の範囲はどのようなものか、希望があつても無理なのか。どの制度でも隙間の人が困ることがあるのでどうかと思った
【経営課題2-1】	ネウボラ対応の保健師さんは継続とありますが、転勤や異動などで継続は可能なのでしょうか
【経営課題2-1】	良い体制だと思います。ただ、色々な家庭を考えると、 ・父子家庭の育児相談は対応しきれているのか ・このような支援について認知されているか と思います
【経営課題2-1】	東淀川区版ネウボラは子育て支援として大変有意義な取組だと感じた。また、区独自として、助産師の訪問事業を1歳まで延長する取組、ICTを活用した子育て支援も周囲を含めた講座に拡充するなど、子育て支援に取り組む内容が充実している
【経営課題2-2】	アウトカム指標について。アウトカムとは成果のことである。「支援を必要とするこどもたちや子育て家庭を適切な関係機関につなげる」それは、課題を抱えた子供達や児童虐待貧困ヤングケアラー等の問題に対処するこの事業の手法(アウトプット)に過ぎない。その手法によって、この事業が求める成果とは何であるのかを明確にされたし。また、アウトカム指標として100%の数値が示せる時、または指標として100%を目指す時、それはアウトカム指標そのものが見当はずれであると気が付かなくてはいけない
【経営課題2-2】	青少年指導員と青少年福祉委員は一つにできないのか
【経営課題2-2】	青少年指導員や青少年福祉委員の人材不足のため、特に、青少年指導員の役員の任期が伸びている（50歳）対策は？（現状、今の役員は平均55歳、役員以外にも）

【経営課題 2-2】	青少年指導員、青少年福祉委員の定員不足、各関係団体の高齢化もあり、盆踊りも2日間から1日のみ縮小して開催されたが、今後は地域の人材不足のため、いろいろな行事がどんどん縮小、中止になり、子どもとふれあう機会が少なくなることに懸念せざるを得ない
【経営課題 2-2】	課題を抱えた児童に対する関りが、幼少期から始まり学校に引き続き連携できるようにできると評価されているが、発達過程に課題を抱えているであろう児童が、適切に支援の場や関係機関に連携できているように感じない事例を見聞きすると、幼少時から継続している区役所が小学校とも連携し、発達の部分の関係機関への連携の必要性を保護者に伝える役割を担うなど、学校、行政からも支援を情報提供行えば良いように感じた。小学校ではぐくみサポートの支援の必要な増えていることを感じており、人材確保と増員の必要性を感じる
【経営課題 2-2】	ヤングケアラーの発見に至るまで家庭に入りきれない現状もある
【経営課題 2-2】	前年度も意見したが、支援を必要とする子どもたちを関係機関につなげられた100%が現実問題本当に手がとどいているか疑問である
【経営課題 2-2】	こどもサポートネット事業について保護者にはどのように周知していますか
【経営課題 2-2】	素晴らしい体制だと思います。ただ、子どもが一人で悩み助けを仰ぐ行動を見つけ出すことが大事であり、教師の「気づき」はすごく重要な一歩だと思います
【経営課題 2-2】	子どもサポートネットについてはもっと拡充させていく方向でお願いします。具体的には、サポート支援員の訪問回数増加にぜひ取り組んでほしい
【経営課題 2-2】	小学校で働いています。清潔状態、服装、生活習慣など気になるお子さんが何人もいます。衣食住のサポートが十分に行き渡るといいと思います
【経営課題 2-2】	学校現場では不登校児がとて多く、親もどうしたら良いか困っている。本人の成長を待たなければならないこともあり、学校以外でサポートできる機関を必要としている
【経営課題 2-2】	支援を必要とする子どもたちや子育て家庭を適切な関係機関につなげられた割合は100%となっているが、スクリーニング会議で把握されていないケースも多いのではないかと。そこを拾い上げるにはどうするのか
【経営課題 2-2】	区SNSや学校だより（回覧板）で大人向け、子ども向け各々の相談窓口の紹介（ヤングケアラー対応）や困った時に区に頼ることの大事さのPR
【経営課題 2-2】	学校に通っていることで自然と取り組みに参加していると思います。あーお世話になったなーという実感はないです
【経営課題 2-2】	学校施設開放事業の令和6年度エアコン使用料はどうなったのか
【経営課題 2-3】	アウトカム指標が具体的ではないのでもう少し具体的にしてみてもどうか
【経営課題 2-3】	良い取組だと思います
【経営課題 2-3】	子どもの生きる力への取り組みは、ゲストティーチャーの活用による多様な性や性教育、ネット社会への安全教育等は必須でより幅広く、繰り返し触れる機会を持つ必要性を感じる。また、芸術鑑賞等では見聞きしたことの無い初めての機会により未来を想像できるかわりになっていると感じる。しかし、芸術鑑賞は興味の有無により偏りがあり評価が分かれるのではないかと感じる
【経営課題 2-3】	ゲストティーチャー事業の内容が定番すぎるのでは
	アウトカム指標である区民アンケート結果は、年々にその数値が低くなる一方であることから区民の東淀川区教育行政への失望感が読み取れます。が、区教育事業であるゲストティーチャー派遣事業の自己評価結果は年々にすこぶる高い。これが示す意味は、教育行政連絡会議内の大満足は区民の不満と不信そのものであるということ。それは落差というよりはもはや乖離というしかない現状である。このことについては令和4年度区政会議内でも委員が指摘しているが、今年度本会議の配布資料である運営方針自己評価においても運営方針(たたき台)においても区教育行政は改善する方向性すら示さない。或いは、示せない。この現状を打開する為には、この事業の内容の全てと、区教育行政そのものの実情を丁寧に明らかにする必要がある。その為には、委員はより多くの質問を区教育行政に投げかけ、より多くの説明を求めることが必須である。その実情を公に記録し全ての区民と情報共有することが区政委員の責任であると意見します。特に、令和4年度柴島中学校で実施された「いのちと性の授業」に係る案件について、それに付随関連した全ての事柄を、全委員と情報共有することを求める。当然、私も完全に協力します

【経営課題2-3】	民間事業者を活用した課外学習事業について。小・中学校の基礎学力の向上と学習習慣の定着は、本来として公立小中学校の機能である義務教育が担うべきことであるが、東淀川区内の公立小中学校ではその機能が既に失われているという前提に、この事業の主旨があるのでしょうか？ 習い事塾代助成カードには所得制限があります。それは教育における親の経済負担を軽減する目的があるからですが、義務教育は無償であることが大前提です。義務教育の範囲にある基礎学力の向上すら親の経済負担を当然とする、この事業の必要性について、詳細にご説明下さい。経済的な教育格差とは、義務教育以上の基礎学力以上の教育学習を求める時に親の経済負担があるからであって、義務教育の基礎的な習学にそれが必要であるからではないと考えます。基礎学力は当然学校が担保する、それ以上のものを求めたい時にこそ、親が自力で経済負担する、或いは習い事塾代助成がその効果を発揮し、大阪市の児童生徒の学力が全体として向上する。そう使いたいのが本来であると考えます。区教育行政連絡会について。ホームページで公開されているこの会議の議事要旨は他区と比較しても非常に内容開示が希薄である。資料の添付もなく、区民への公開情報としては、不親切である。また、この会議は原則公開であり一般の傍聴が可能であるが、平成27年度からの大阪市分権型教育行政推進と共に発足した東淀川区教育行政連絡会会議は、昨年度に区民から指摘を受けるまで、それは公示されなかった。他区は当然に公示していることも補足する。これらは、区民を他においた東淀川区教育行政が方針され自己評価ばかりが高くなる、ひとつの要因であると思見します
【経営課題2-3】	学校長への聞き取りだけではなく、子育て中の親を対象にLINEなどを活用して区民の声を聞いてみてはどうか
【経営課題2-3】	児童の成長過程に重要な事業だと思います。特に音楽、演劇等芸術に触れることはとても大切で、特に本物に接する機会を増やしてあげてほしい。また、読書環境も今以上の充実を願います
【経営課題2-3】	読書環境について。図書館から遠い地域はまちかど号を放課後に来てもらうようにしてほしい。遠くて行きにくい。基礎学力について。遅れがちな子が遅れっぱなしになっている。九九や繰り上がり繰り下がりもままならない高学年もいる。算数の習熟度学習ではわからないまま終わり、取り残される子が増えていくように感じます
【経営課題2-3】	地元の小学校で週に1回絵本の読み聞かせを全クラス一斉に実施している。子どもたちは毎週金曜日を心待ちにしており、本が好きになったとの声が多く寄せられている
【経営課題2-3】	教員や子どもに負担のかかるやり方（順位付け、査定）の学力テストの廃止、学校生活を充実させる様な取組
【経営課題2-3】	学校協議会に長年委員として出席しておりますが、委員以外の地域の方、保護者等の傍聴は全くないです。傍聴できることを広く周知してもらえればと思います
【経営課題2-3】	生きる力育てではアクティブラーニング教育など色々ありますが、子どももそうですが教育に携わる教員や指導員対象の教育もありますか？
【経営課題2-3】	民間事業者を活用して学力を上げるのではなく、教員の数を増やし、質を上げて本来の授業で取り組めるようにするべきではないのか。保護者対応や事務作業が多いなら事務員を増やすべき
【経営課題2-3】	学校以外での学習が多くの子どもにも受けられるようこれからも頑張してほしいです
【経営課題2-3】	こぶしのみり塾はとても良いと思う

## 経営課題3

## 令和6年度東淀川区区政会議第1回各部会でいただいた意見

経営課題	意見
【経営課題3-1】	アウトカム指標について。アウトカム指標として100%の数値が示せる時、または指標として100%を目指せる時、或いは高過ぎる目標値を設定できる時、それはアウトカム指標そのものが見当はずれであると気が付かなくてはいけない。区職員は、手法であるアウトプットと、成果であるアウトカムの違いを認識する必要がある。また、この報告の詳細を説明いただきたい。誰が何をどんな基準で評価し解決に至ったとしているのか。補足資料の提供も必要である
【経営課題3-1】	具体的取組中の「認知症の人にやさしいまち」を「認知症の人に寄り添うまち」にしてはどうか
【経営課題3-1】	社協の地域による活動のばらつきを解決できないものか。会計についても公にしてほしい
【経営課題3-1】	疎遠になるのはなんででしょう・・・ひとごとではないと知ってもらわないといけませんね。自分も助けてもらう可能性、同じ立場になる可能性もあることがなかなか実感できない
【経営課題3-1】	昨年近くの高層住宅で孤独死が発生した。そこに至るまでの地域住民の見守りの声掛けが届かなかったのが残念だ
【経営課題3-1】	高齢者になっても生活の心配なく暮らせる取組、福祉施設の利用あっせん等年金サポート
【経営課題3-1】	地域コーディネーターがいることを知らなかったため、そういった方がいること、認知度を高め、よりその人にあった支援へのかかわりが広がればと感じた
【経営課題3-1】	子どもから高齢者までをつなぐ役割として地域コーディネーターがいると思うのですが一人では少なく感じます
【経営課題3-1】	前年度の地域福祉コーディネーターへの相談件数などを教えてもらいすごくたくさんの方に驚いた。これからも色々な場面に对应し活躍していただけるようCSWとコーディネーターのスキルアップに力を入れてほしい
【経営課題3-1】	新庄地域のコーディネーターさんも高齢者が集まる場に顔を出していただき、相談に乗ってくださっているといます
【経営課題3-1】	私の地域でも、民生委員らの情報を福祉コーディネーターに伝えるように連携しています。ただ、地域では福祉コーディネーターの認知度が低いと言われてます
【経営課題3-1】	地域福祉コーディネーターの存在は、町会等の地域に属する住民が減少していく中大変重要と思います。現在の1名からぜひ増員をしていく方向でお願いしたいです
【経営課題3-1】	まだまだ地域福祉コーディネーターの認知度が低いと感じます。本当に支援が必要なひとり身、精神障がいの方は広報紙、ホームページを活用せず、情報を得ようとしない、プライベートなことに立ち入ってほしくないとの考えの方が多くいます
【経営課題3-1】	地域福祉コーディネーターの認知度が低いように感じる。知っている人は孤立しているような人ではなく、本当に必要な人に認知してもらおう事が大切だと思う。ライフサポート事業の認知度はどうなのか。せっかく現在あるものなので有効活用できればよいと思う
【経営課題3-2】	「個別避難計画」にはぜひしっかり取り組んでほしい
【経営課題3-2】	個別避難計画が災害時に本当に活かされるのか。日ごろからの訓練が必要ではないか
【経営課題3-2】	個別避難計画が災害時に本当に活かされるのか。日ごろからの訓練が必要ではないか
【経営課題3-2】	地域での助け合いという意識を高めていく必要性を痛切に感じた
【経営課題3-2】	地域別保健福祉計画の内容はあまり知らないで、地域ミーティングに出席して勉強してから意見したいと思う 豊里南はあるらしいが計画などなかなか進んでいない地域が多いように思う
【経営課題3-2】	災害時に活かしていくには町会や子どもまでの連携が必要だと思えます。健康状態を把握したりも必要だと思えますが、個人情報の扱いはどうすればよいでしょうか
【経営課題3-2】	要援護者への体制は良いと思えます
【経営課題3-2】	地域福祉計画に基づいた活動を具体的に組み込んでいくために支援が必要と感じます
【経営課題3-2】	地域内でいろいろ個別に行事をやっているが、単独でやりがち。多くの人が集まる行事で活動紹介をしたり、体験会ができるような仕組みがあるとよい。障がい者や在住の外国人の声が届きにくいと感じる。要援護者にとって暮らしやすいまちがたくさんの人にとって暮らしやすいまちだと思う
【経営課題3-2】	まだまだ地域福祉コーディネーターの認知度が低いと感じます。本当に支援が必要なひとり身、精神障がいの方は広報紙、ホームページを活用せず、情報を得ようとしない、プライベートなことに立ち入ってほしくないとの考えの方が多くいます
【経営課題3-2】	豊新地区の保健福祉計画更新会議に参加させていただいた。地域での防災の事等細かに話し合い良かったと思う
【経営課題3-2】	支援が必要な方の連合町会への加入あっせん 町内会で声掛け、災害時の避難協力など
【経営課題3-2】	高齢者が歩行中に地べたで休憩する光景をよく見るので、休憩できるベンチがあれば良いと思う

【経営課題3-3】	本当に困っているかわかりにくい。本当に困っている人のところに速やかに支援が行き届けばと思う
【経営課題3-3】	福祉の様々なネットからこぼれ落ちる人をどう救い上げるかがいつも課題だと思う
【経営課題3-3】	東淀川区生活困窮者サポートネット連絡会はどのような構成員でしょうか。見つけることは可能なのでしょうか
【経営課題3-3】	ひがよどなごみ勉強会に参加している生徒の声を色々知りたい
【経営課題3-3】	ひがよどなごみ勉強会について。東淀川区ホームページにある説明を抜粋する。「学習機会に恵まれない生活困窮世帯の子ども等を対象に勉強会を開催しています。学校の勉強についていけない。学校に行きたくない行けてない。家や学校で勉強できない勉強しづらい。社会性の習得。高等学校への進学卒業。自尊感情の育成。」が事業主旨であると。そして、その対象者には限定的な条件がある。区内に関連する子供であること、困窮世帯であること、不登校若しくはメンタル等の問題があること。この全てが揃うのが条件である。そして、ここでも基礎的な学力の成形が謳われている。一見すると、大変に良い取り組みなのですが、その履修に応じた基礎学力の形成を担保するのは当然に本来学校の取り組みである筈ですし、義務教育期間においては困窮世帯であることを理由にその学習機会に恵まれない基礎学力が成形されないなどあってはならない。高校無償化制度がある現在としては、経済的な困窮を理由に高校進学にためらう必要もない。多大な税金が投入されている義務教育の範囲の習学や高校課程の履修については学校が機能することが望ましい。この事業に成果があって実証可能ならば、それをモデルケースとして、学校の本来の機能の回復に役立てるような取り組みに繋がれば、この事業の成果は、限定された対象者だけでなく全ての子どもが享受できる。また、高校中退を防止を課題とするだけでなく、高校を中退したとしても継続される学習支援が必要でもあるし、学業に復帰する機会の気付きがあらゆる場面で提供されることも自立支援において重要である。平成31年にこの事業の実施報告がある。その内容にはこの事業の課題が多く示されているが、今年度経営方針にはそれらが反映されているのかいないのか、全く掴みどころがない
【経営課題3-3】	ひがよどなごみ勉強会は具体的な支援として、大変有意義な事業と感じます。今以上手厚く支援していただき、希望ある未来へつなげていただきたいと思います
【経営課題3-3】	生活困窮者は、産後・幼児訪問、保育園、小中高で早期把握ができると思うが、子育て世帯以外の生活困窮者は相談窓口以外どのように把握しているのですか？
【経営課題3-3】	一昨年不登校の友人の息子さんが生きる力を失い自殺してしまった。二度と同じことは起こしたくないと思っている
【経営課題3-3】	近くに相談窓口が多くあればいいと思う。その相談窓口もわかりやすく入りやすい環境づくりが大切だと思う
【経営課題3-3】	生活困窮者切り捨て社会ではなく憲法25条に基づいたセーフティーネット（生活保護）と再建に向けた支援窓口の設置、活用
【経営課題3-3】	つながる場を提供することで相談しやすい、それによる支援へにつながるよいシステムの構築ができていると感じる。また、今後の社会を担う大学生を巻き込むことで、今後地域活動への興味がわき、支援者の育成につながる好循環になっているように感じた
【経営課題3-3】	つながる支援として良いと思います
【経営課題3-3】	知らないと使えないサービスをわかるように教えてほしい。申請する書類や書く内容は似たものも多く負担を感じる。取り寄せる書類も手間、申請の単に使う時間も確保が難しい。相談できてもそこからのハードルも高い
【経営課題3-4】	家から出ることから、人とのつながり、健康寿命を延伸できる機会になっており、引き続き開催できる機会を増やす必要性を感じた
【経営課題3-4】	老人ホームなどに「いきいき百歳体操」の活動がふえ、ホームにいる方への啓発活動が増えればと思います
【経営課題3-4】	・健康づくりに取り組みやすい環境でよいと思う ・いろいろな事業を考えてイベントが増えているのは良いと思う
【経営課題3-4】	アスマイルは見ましたが、活用し抽選するのはどのように行われマイルで当たるのかが知りたい
【経営課題3-4】	わくわく！いきいき百歳体操はすごく良いと思います。加えて学校を活用した「生涯学習ルーム事業」にも自主的に参加され生きがいのある場所も増えると良いと思います。集まる場所での情報交換や検診への啓発もしやすいと思います
【経営課題3-4】	平均寿命及び健康寿命が市平均を下回る事は大変問題と思いました。啓発活動も、健康に無関心な層を掘り起こす内容をお願いしたいです
【経営課題3-4】	好きなスポーツで友人の拡大と健康づくりはとても大切だと思う。他市の事例で公園でグランドゴルフをしていたが、その公園に学校が建ち、河川敷まで行かなければいけなくなったために継続できなくなる事例があった。もと西淡路小学校のように運動場があればよいと思う
【経営課題3-4】	百歳体操の実施会場数及び参加者数の増加を図るため、新規開拓及びサポーター交流会の実施となっているが、どのように新規開拓しているのか。介護事業者等へ協力要請しても良いのではないかと
【経営課題3-4】	区内企業へ健康増進イベントの実施
【経営課題3-4】	検診、受診の会場を追加してほしい
【経営課題3-4】	検診をやっている医療機関にかかった時に予約をとって帰りませんか？と声をかけてもらえたらありがたいです。高齢者等の在宅医療～のところでこの取り組みが個別避難計画作成と連携していけたらよいと思います

【経営課題 3-4】	医誠会が移転したので、区内での健診場所の集団会場を増やしてほしい
【経営課題 3-4】	現役世代向けの休日検診の実施
【経営課題 3-4】	高齢になって施設が必要になったときに待つことなく入所できるようにするべきではないか。また、最後まで自宅で暮らせる訪問医療などの充実が必要ではないか

経営課題4 令和6年度東淀川区区政会議第1回各部会でいただいた意見

経営課題	意見
【経営課題4-1】	大阪市防災アプリの活用してもらう
【経営課題4-1】	防災力の向上でホームページやSNSを積極的に活用とあるが、独居等の高齢者の方々が活用できるのか
【経営課題4-1】	自助共助は最後の手段で準備は必要だが、公助もしっかり示す必要があると考える
【経営課題4-1】	「自助」「共助」の醸成が課題。特に共助については特に都市部で希薄になっている地域の絆づくりのためのイベントづくりが必要
【経営課題4-1】	担当する町会が木造住宅密集地があり、旧耐震基準のものが全世帯の51%もあり、かつ高齢者世帯における比率は87%にのぼる。大阪市の住宅密集市街地に東淀川は指定がない。耐震率をアップをはかるため、区として耐震化に向け補助金のアナウンスをおこなうべき。また市として対象区域の見直しを申請してもらいたい
【経営課題4-1】	政府方針を受けて避難要支援者の項目が多いが避難支援者の確保が課題。
【経営課題4-1】	災害時における淀川・神崎川の河川情報の提供、地域避難所へのアクセスルートの把握
【経営課題4-1】	防災の要となる自主防災組織(防災リーダー)について高齢化が進んでいる中で若手の参加とともにいっそうのレベルアップとともに中核となるメンバー育成が必要
【経営課題4-1】	親子参加を対象とした防災ワークショップの開催
【経営課題4-1】	他府県からの支援物資等の受け入れ場所をあらかじめ決めておいて東淀川区内に何力所か設け、仕分けなどがスムーズに行くよう訓練しておくのも防災の一環として良い
【経営課題4-1】	防災訓練を行っている5地域を教えてほしい また、実施していない地域への協力体制は
【経営課題4-1】	学校と地域の連携が不足していると思う。コロナ禍で人員を減らして訓練していたが、今後は継続的に参加を促す必要があると思う
【経営課題4-1】	防災意識醸成のため地域教育機関(小・中学校等)と協働での防災教育、訓練をおこなうことを推進してはどうか
【経営課題4-1】	令和6年度能登半島地震を受け、上町断層や南海トラフと何時起きても不思議ではないをより周知し、日常的防災意識向上の講習会等を実施
【経営課題4-1】	避難計画策定にあたって、高齢者が多く、身近な一時避難所として企業、宿泊施設等の利用可能にする取組みが必要。(協定締結)
【経営課題4-1】	区内フィールドワークの実施(居住地域から広域避難所への移動)
【経営課題4-1】	災害発生時の避難所開設場所の事前周知を行うべき
【経営課題4-1】	避難所開設訓練を2年に1度程度行ってはどうか
【経営課題4-1】	「能登半島地震」の現状を見て(大阪市、区役所の応援者から課題聴取)今の取組みの見直し、強化をすることをしてはどうか。 ・避難所のあり方 ・高齢者対策(耐震化支援、二次避難先の検討) ・災害復旧ならびに被災者支援費用を試算し、その幾分かを減災取組み費用に充当してはどうか?(区での取組みでなく、市議、府議と連携して大きな取組みとしてもらいたい
【経営課題4-1】	避難所の備蓄倉庫の面積の拡大と、物資の充実を図ることを明記してもらいたい
【経営課題4-2】	アウトカム指標に犯罪件数等、警察が掲げる数字目標と共通化すべき
【経営課題4-2】	特殊詐欺等啓発のためにイベントに役所の方をお招きしたくても日曜休日がダメと言われるので地域で取り組みにくい
【経営課題4-2】	コロナ過以前の状態に戻し、防犯啓発講習等を警察職員と連携した事業の拡大
【経営課題4-2】	青少年が犯罪に巻き込まれないためのSNS情報発信 相談窓口などによる犯罪情報の摘発などの強化
【経営課題4-2】	防犯カメラの維持管理(購入費も)に必要な経費を、予算化して支給してもらいたい
【経営課題4-2】	青パトを活用
【経営課題4-2】	巧みな手口の犯罪が増えてきているので、いち早く新たな手口が分かった時点で公表し、周知させていく必要がある。青パトのアナウンスもその都度変更していく方が良い

【経営課題4-2】	青パトについて、重点確認ポイントや巡回ルートを決めてはどうか
【経営課題4-2】	青色防犯パトロール活動は一定の効果があると考えられるので、可能な限り多くの時間帯で実施する
【経営課題4-2】	青色防犯パトロール活動の高齢化による参加者不足への限界を見極め、防犯カメラの増設を警察と連携し、AI技術の活用により防犯カメラの集中管理と活用を行えないか
【経営課題4-2】	青パトに乗る人が高齢化している。警察の巡回を増やしてほしい
【経営課題4-3】	アウトカム指標に犯罪件数等、警察が掲げる数字目標と共通化すべき
【経営課題4-3】	6年度、道路交通法の改正があるので、再度ルール・マナー講習会を地域で実施（自転車での携帯電話使用、自転車での飲酒運転、二人乗り等罰則強化）
【経営課題4-3】	地域による自転車マナー講座
【経営課題4-3】	小学校教育の授業の中で、自転車利用のルール・マナーを設け、小さい時よりの啓発活動を行ってはどうか
【経営課題4-3】	自転車のルールやマナーの向上は必要なので予算をもう少し増やしてほしい
【経営課題4-3】	自転車事案の増加に伴い、地域の住民・学校・諸団体へ交通マナーや自転車講習会の実施
【経営課題4-3】	交通安全教室を警察だけではなく、NPO法人（例、CMA一般社団法人 コミュニティマネジメント協会）などの他の組織にも行えるようにしては。そしてその予算化も
【経営課題4-3】	自転車、電動キックボードの交通マナー向上イベント
【経営課題4-3】	こども見守り隊の交通安全声掛け
【経営課題4-3】	放置自転車対策を推進していく上で自転車駐輪場をまず十分にとる必要があるのでは
【経営課題4-3】	放置自転車対策に本課題の予算が偏っているのが気になる。放置自転車対策＝交通安全意識が高いとは言えないのでは。 "見守り隊"に対し有償ボランティアのような形で一定報酬を渡す事はできないか
【経営課題4-3】	モベットなどの新しい乗り物に対しての周囲の理解が追いつかないものは、いち早く取り締まるべきものは取り締まれるよう警察が主となってアピールすべき
【経営課題4-3】	駅周辺の自転車置き場不足が放置自転車を生むので土地所有者と会話を

経営課題 5

令和6年度東淀川区区政会議第1回各部会でいただいた意見

経営課題	意見
全体	アウトカム指標が、アンケート結果の数字であり、客観的数字目標にすべきであり長期的な課題に対しては年次目標をおくべきでは。そうすることで、取組の成否評価ができ修正もできるし、担当するメンバーのモチベーションアップになると思う
【経営課題 5-1】	各部会での議論ではなく、部会ごとにテーマ別の分科会(少人数)での施策の深堀をおこなうことが必要
【経営課題 5-1】	「できること」「できないこと」を「はっきりさせることができないこと」を前提に、たとえ少数派であっても聞く耳を持つ大切さを運営サイドが自覚して会議に臨めば区民ニーズは反映される
【経営課題 5-1】	区政会議メンバーの意見を取り入れた取組みを作り上げたいと思う。メンバーの参画意識の醸成とモチベーションアップをはからないと形式を整えただけに終わる
【経営課題 5-1】	ライブ中継を行うことでたくさんの方に知ってもらえることはとても素晴らしいです
【経営課題 5-1】	区政委員の出席率の向上に取り組みが削除されたのは何故か
【経営課題 5-1】	区政会議でまとめた意識をより反映できる様に抽出を！関係団体（警察・消防・学校等）の直接意見交換（勉強会等で）
【経営課題 5-1】	更なる充実を図ってほしい
【経営課題 5-1】	知人から区政会議委員を聞くまで知らなかった。広報紙、ホームページ（SNSからのリンク）にて、区政会議の内容（ダイジェスト）の掲載があっても良いのでは
【経営課題 5-1】	区民よりの意見を広く聞き、ある一定数（仮に5万件）以上意見があったものに関しては区行政として対策を行い、ホームページ等で回答を公表するようにするのはどうか
【経営課題 5-2】	ホームページやSNSの活用は継続するとして、ラジオやテレビといった媒体も活用してはどうか（高齢者向け）
【経営課題 5-2】	他市のホームページはとても見やすく市民が必要としている情報があり、つい大阪市と比べてしまう
【経営課題 5-2】	若い人にはSNS等がいいのかもしいが、広報紙が一番見やすくわかりやすい
【経営課題 5-2】	広報紙については、もっと興味を持って見て頂ける内容の向上を！SNSについては、システム強化を行いつつ、Instagramでの発信強化を！
【経営課題 5-2】	更なる充実を図ってほしい
【経営課題 1-2】	広報紙、区SNSアカウント、区内イベントブースでの担い手募集の案内、PR活動
【経営課題 5-2】	東淀川区内の広報紙設置店（カフェ、ショップ）の協力、電子版普及の検討
【経営課題 5-2】	スマホ教室を始めたなら高齢者も助かるのでは
【経営課題 5-2】	被災地域（熊本・石川など）の市町村のLINEをフォローしており、給水車、気象、炊き出しなどの情報が流れて来る。区民だよりなどで他市町村の実例を取り上げ啓発してはどうか
【経営課題 5-2】	マイナンバーカードのを各種データと連動することができるようにし、行政手続きの迅速化を図る
【経営課題 5-4】	市民が興味を持つカテゴリーを中心に発信しつつ、区役所から発信したいカテゴリーを織り交ぜながら情報力の強化を図る
【経営課題 5-3】	コンビニ交付時における高齢者、要支援者向けの店員サポートの充実、本庁窓口の正規職員の増員
【経営課題 5-3】	マイナンバーカードの普及促進とコンビニ他機能の利用による（加入の義務化）証明書発行の迅速化
【経営課題 5-3】	遠方から車で来庁しなくて済むように淡路出張所のように他に出張所を設けられないか
【経営課題 5-3】	東淀川区役所は混雑がひどい
【経営課題 5-3】	コンビニの証明書発行は早くて便利で良い
【経営課題 5-3】	窓口以外（コンビニエンスストア・インターネット等）で書類発行を強化し、来庁頻度を下げるシステム作りを！（ペーパーレスの促進含む）
【経営課題 5-3】	更なる充実を図ってほしい
【経営課題 5-4】	アウトカム指標について90%以上を維持とあるが、あるべきは100%ではないだろうか

【経営課題5-4】	データベースの共有化やアウトソーシングの活用により効率化を図るべき
【経営課題5-4】	生活相談、子ども相談窓口、対応職員の増加、公の充実
【経営課題5-4】	区民の役に立つ区役所として、職員の努力が良く分かった
【経営課題5-4】	更なる充実を図ってもらいたい
【経営課題5-4】	人間である以上「失敗」はするものであると区役所を利用する側にも理解してもらえよう努力するのも良いのではないか